

令和2年度 国立教育政策研究所 教育課程研究指定校事業 研究協議会

分科会：高等学校 総合的な探究の時間

地域と連携した探究活動によって

グローバル人材・グローバル人材を育成するカリキュラムの構築

～SDGsの達成を目指した地域活動と課題研究を実現させる

指導と評価のあり方について～

熊本県立八代高等学校

2021.02.03

1 仮説と計画

2 実践

3 成果と課題

1 仮説と計画

- ・本校のグランドデザイン
- ・これまでの「探究」と課題
- ・仮説と研究のキーワード
- ・計画

八代高等学校・八代中学校6か年のグランドデザイン

三綱領を基本理念とし、「文武両道」の精神のもと、6年間を通して一貫した教育を行い、高い理想を持つ自立した人間を育成する。

目指す生徒像

- 志を高く持ち、自ら学ぶ生徒
- 心身ともに逞しく、豊かな人間性を備えた魅力ある生徒
- 他者への思いやりを大切にし、社会に貢献できる生徒

綱領
一、誠実にして
真理を愛する
一、自律を以てして
協和を重んずる
一、闊達にして
進取の氣象を尚ぶ

School Principle

To love truth, being sincere.

To respect harmony, being self-determined.

To develop a spirit of enterprise, being broad-minded.

高3

志望校合格に向けた学力の充実

高い理想を持ち、未来へ飛翔する

- 進路研究の深化、自己の適性に基づく進路志望領域の研究「大学学部研究」「オープンキャンパスの参加」「課題研究論文作成」
- 進路希望の更なる明確化「関東への修学旅行」
- 進路希望実現へ向けた取組「高2からの特別クラス編成」「習熟度及び進路希望別授業および課外の実施」

高2

学部・学科の絞り込み、志望校の選択

高1

学部・学科研究、職業研究を通じた文理選択

学習と体験を充実させ、豊かな社会性を育成する

- 社会体験による職業意識の確立「高1インターンシップ」
- 高校での学習習慣の確立と社会性の涵養「高校集団宿泊研修」
- 学習内容の充実「中3時での高校数学Ⅰ修得」「中3『対話力』、および高1における即興型英語ディベート」
- 自己の適性を知り、明確な進路意識を持つ「京都大学訪問」「中学卒業論文作成」「学問講座鳳雛」

中3

社会と自己の適性を知る

中2

興味・関心を広げる

自ら考え、行動するための基礎を養成する

- 学習習慣の確立、生活習慣の確立「集団宿泊研修」「ピアサポート」
- 地域の歴史文化を知る「八代学Ⅰ・Ⅱ」「日本製紙工場見学」
- 進路を考える視点を持つ「熊本県立大学訪問」「熊本大学発生活学研究科訪問」「インターンシップ」
- 思考力表現力養成「『対話力』におけるNIE、日本語ディベート、和書ビブリオバトル」

中1

地域を知る

グローバル人材の育成

本校の考えるグローバル人材

国際社会の多様性を理解する人権感覚を身に付け、他者とのコミュニケーションを円滑に維持しながら、協働的、発展的に物事を遂行する人材

◆知の触発プログラム

各分野で国際的に活躍する方の講演会、進路講演会（難関大学志望者講演会）、東京大学オープンキャンパス見学等

◆グローバル・アクションプログラム

生徒の自主的な社会貢献活動や各コンテストやイベントへの参加等
〈例〉TTBiz、MESE

◆グローバル・リサーチプログラム

個人課題研究論文等

◆実践的英語活用能力の育成

即興型英語ディベート
イングリッシュキャンプ（SIE Camp）
オーストラリア研修

これまでの「探究」(総合的な学習の時間)

課題研究(グループ)

高校1年次

オリエンテーション

学問研究

フィールドワーク

夏休み

課題研究(グループ)

振り返り

課題研究(個人)

高校2年次

オリエンテーション

課題発見

課題設定

課題研究(個人)

振り返り

進路学習

高校3年次

進路の明確化

課題研究成果発表会

探究講座(小論文)

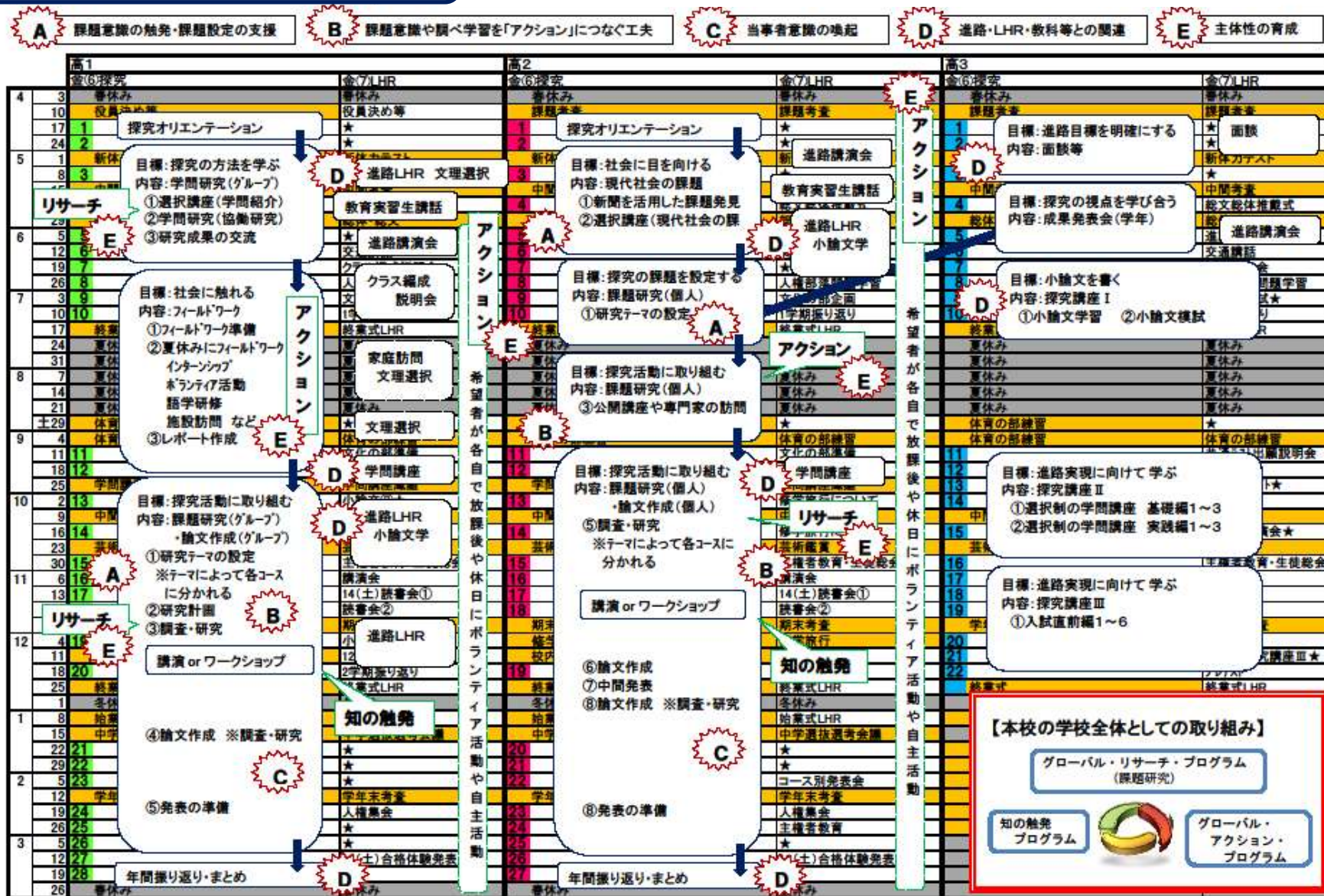
探究講座(学問)

職員アンケートより

1. 課題研究が調べ学習で終わっており、**探究としての広がりや深まり**がない。
2. **課題を発見しようという姿勢**や**課題を解決しようという姿勢**に課題がある。
3. 探究プログラムの**系統性**や**計画性**、他の教育活動との**関連性**が確立されていない。

これまでの「探究」と課題

3年間の「探究」を見渡した時にどこに課題があるかを整理したもの
(職員アンケートをもとに作成)



課題

目指したいところ（職員アンケートをもとに整理）

A 課題意識の触発・課題設定への支援

B 課題意識や調べ学習を

「アクション」につなぐ工夫

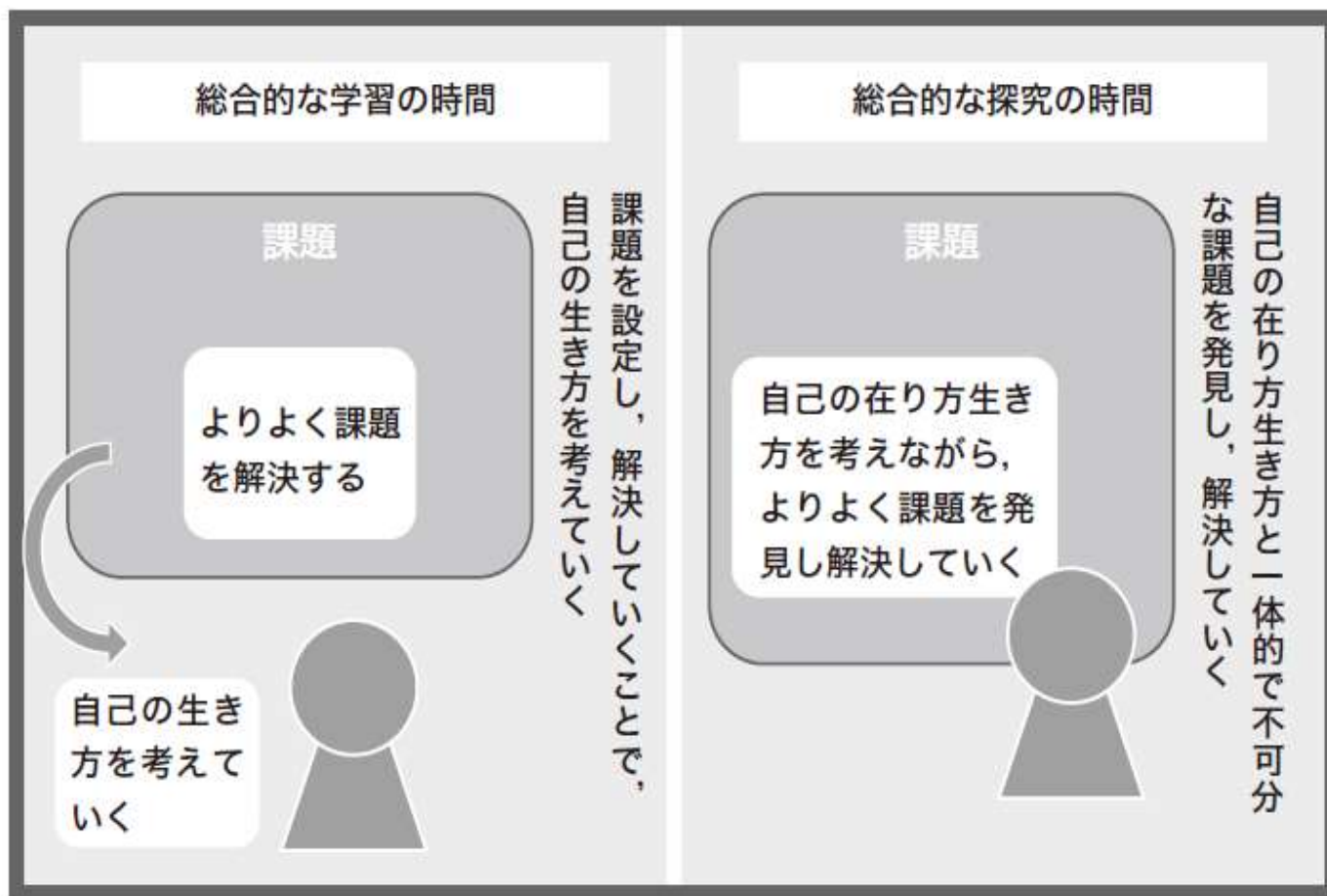
C 当事者意識の喚起

D 進路・LHR・教科等との関連

E 主体性の育成

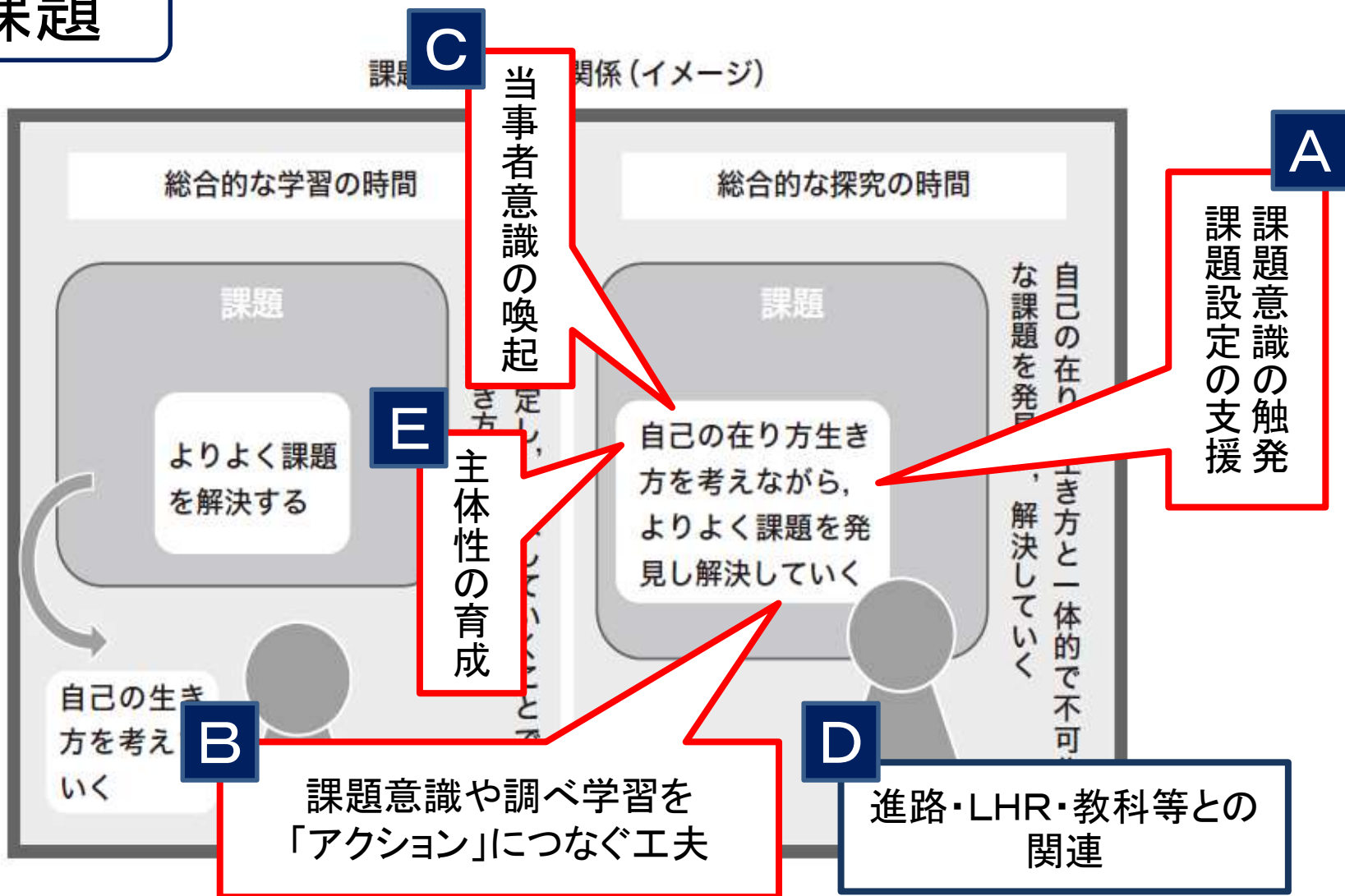
課題

課題と生徒との関係 (イメージ)



「高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 総合的な探究の時間編」より

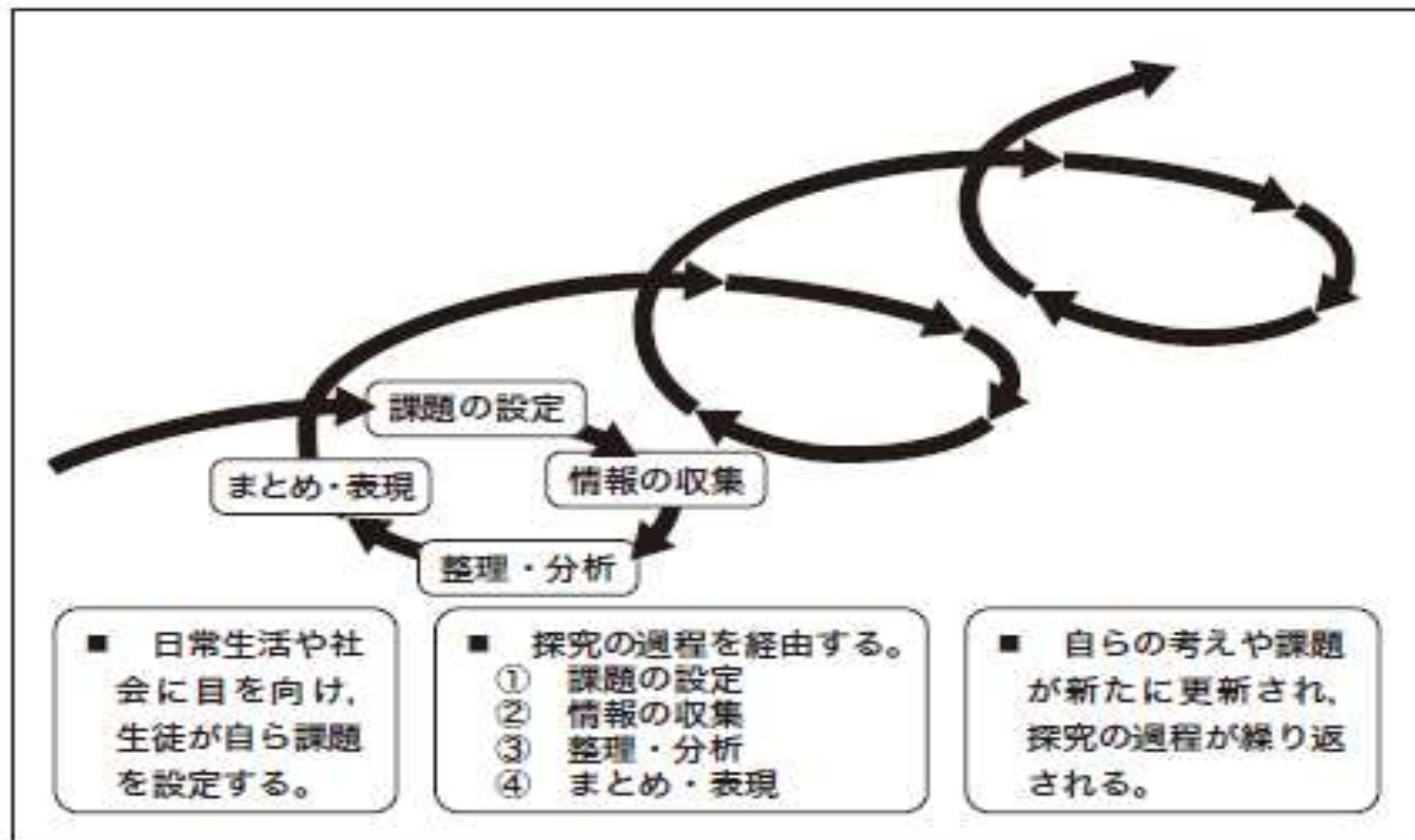
課題



「高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 総合的な探究の時間編」より

課題

探究における生徒の学習の姿



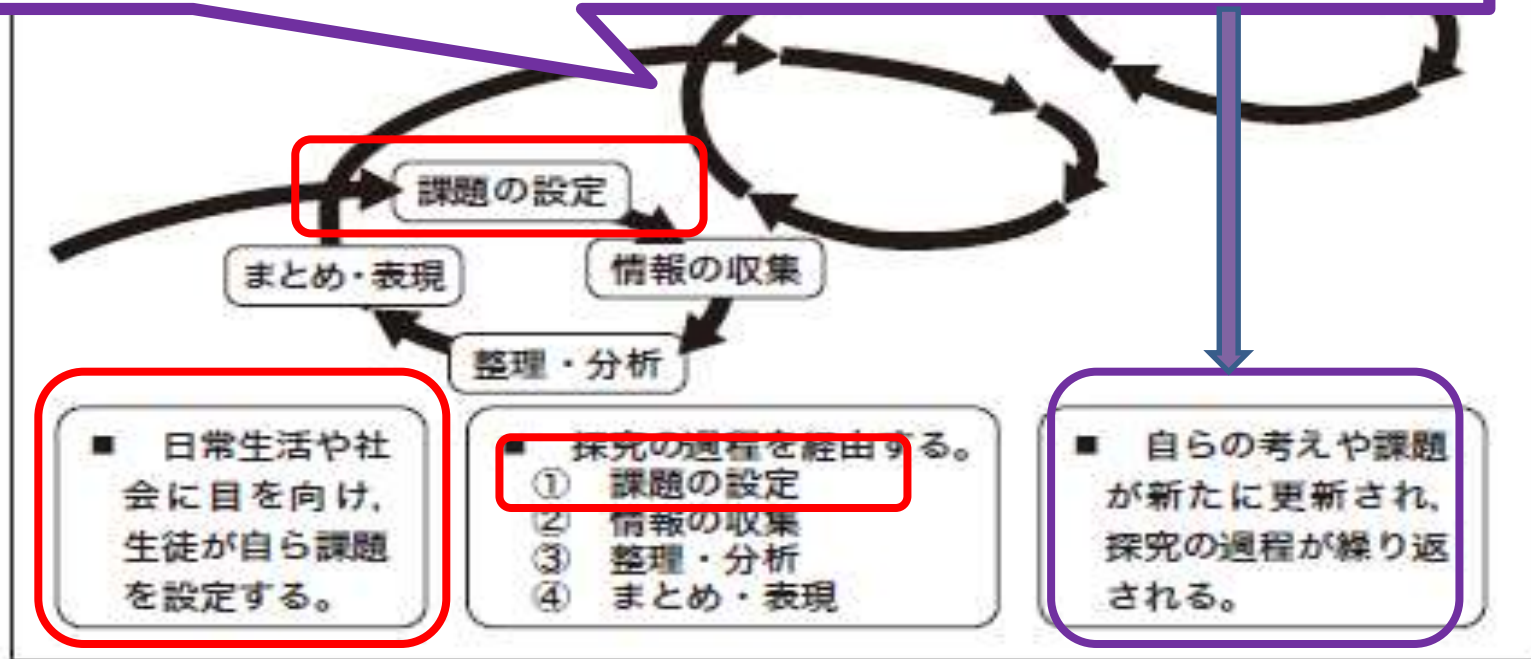
「高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 総合的な探究の時間編」より

課題

探究における生徒の学習の姿

A B C E

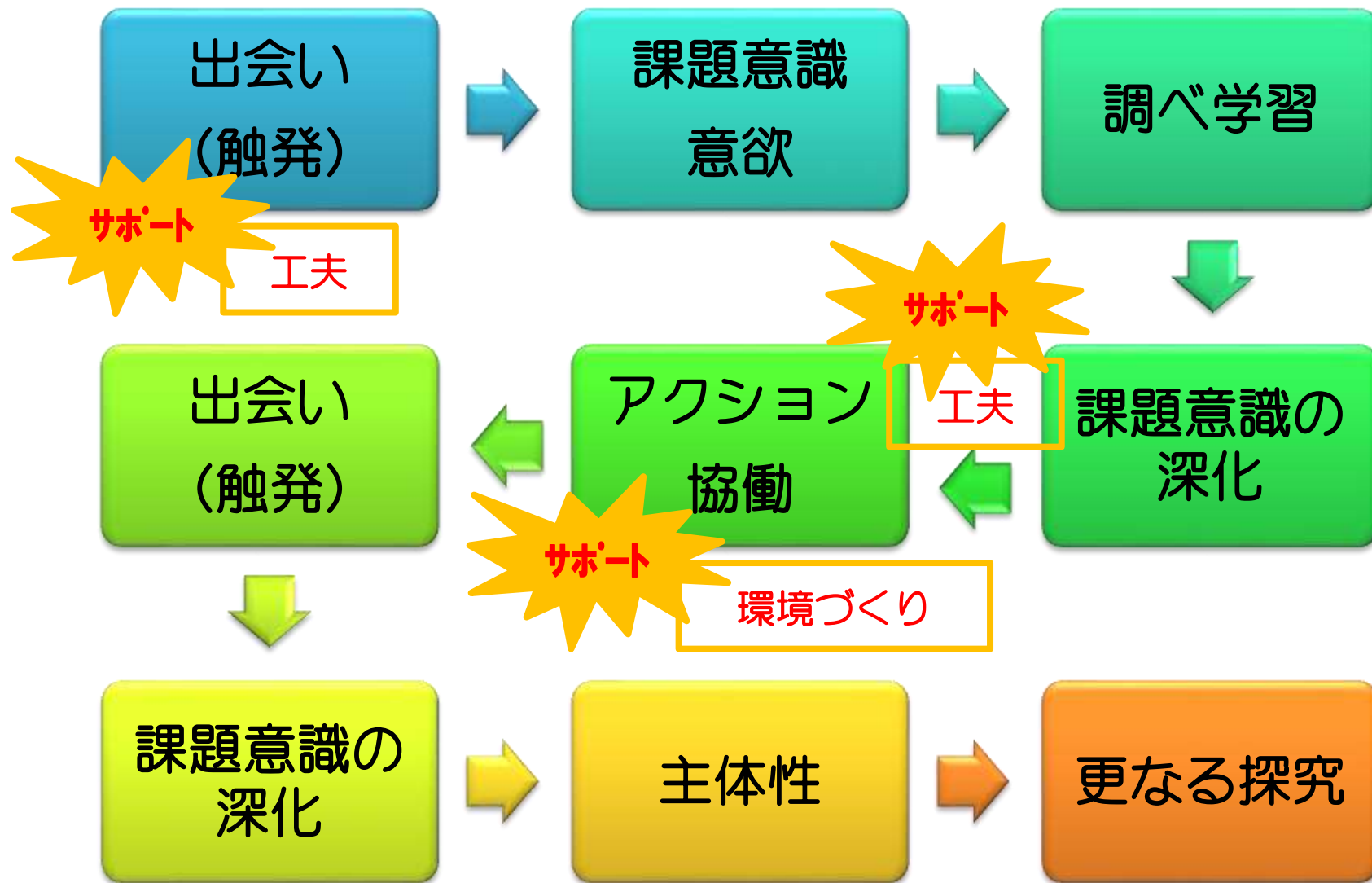
- ① 課題を発見できるか、課題を設定できるか
- ② 当事者意識をもって主体的に課題と向き合えるか
- ③ 意識の変容や行動につながるような、課題との向き合い方ができるか



「高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 総合的な探究の時間編」より

仮説

でサポートができないか？



仮説と研究のキーワード

I 地域資源の活用

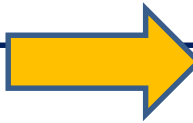
→ 課題意識、当事者意識、主体性、協働性 が生まれる

II SDGsの視点

→ 地域、世界、生き方、探究、教科 がつながる

III 「考えるための技法」の活用

→ 探究 と 教科 がつながる



資質・能力の育成

計画

総合的な探究の時間の構造イメージ

「高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 総合的な探究の時間編」より



【方針】
取り組むことができる
ところから始める

総合的な探究の時間の目標

『高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 総合的な探究の時間編』より

学習過程の在り方

第1 目標

探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、**自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力**を次のとおり育成することを目指す。

育成することを目指す資質・能力

知識及び技能

(1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。

思考力、判断力、表現力等

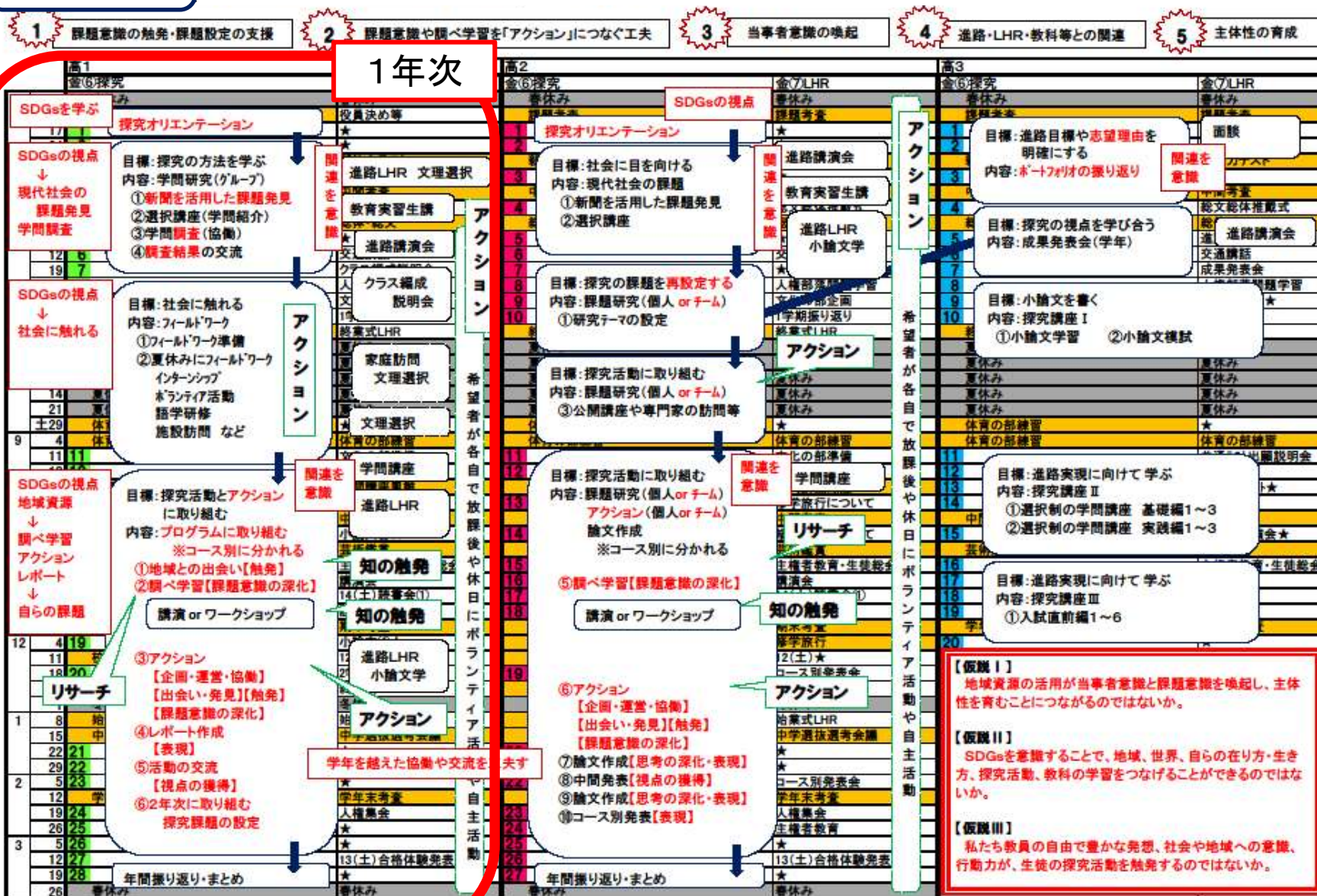
(2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。

学びに向かう力、人間性等

(3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

計画

これまでの「探究」+工夫(地域資源の活用・SDGsの視点)



計画 高校1年次

オリエンテーション

SDGsを学ぶ
新しいものの見方を知る

資料で学ぶSDGs

新聞でSDGs

SDGsで学問研究

SDGsで課題発見

新しいものの見方を活用する

番組を視聴して課題発見

課題発見ライブラリー(選択講座)

新書を読んでレポート作成

知の触発プログラム

RESASで地域の課題発見

課題研究 コース別プロジェクト

リサーチ+アクション

コース別プロジェクト

地域の方々との意見交流会

ポスターセッション

振り返り・次年度に向けて

2 実践

- ・新聞でSDGs
- ・課題発見ライブラリー
- ・新書を読んでレポート作成
- ・課題研究 コース別プロジェクト
- ・地域の方々との意見交流会

新聞でSDGs



学習内容	目標	評価の方法
SDGsの視点で新聞記事进行分析する	SDGsを意識して新聞記事を読み意見を交流することで、ものの見方・考え方を広げたり深めたりして、現代社会の問題を捉える。	観察 ワークシート 相互評価

- 第1時 新聞記事(共通)をSDGsの視点で分析する。
- 第2時 新聞記事(自分で選ぶ)をSDGsの視点で分析する。
- 第3時 新聞記事进行分析して作成したワークシートをもとに意見を交流する。

- ◎ワークシート「新聞でSDGs」(朝日新聞社)
- ◎コメントを書くワークシート〔相互評価〕

考えるための技法

比較する
分類する
関連付ける
多面的・多角的に見る

新聞でSDGs

地域と世界と自分が
つながる



新聞でSDGs

地域と世界と自分がつながる

「カンボジア支援・タマネギ取れた～販売収益で学校建設を～」(熊日R2.5.23)

関連すると思うSDGs



分析

「誰一人取り残さない」ための3つの視点〔経済・環境・社会〕

経済(+): 地産地消によって生み出されたお金を送ったり特産品を送ったりすることで、相手国(カンボジア)の経済が豊かになる。

社会(+): 国際交流がよりよくなる。

感想

自分の母校の小学校でカンボジアに学校を建設する取り組みの手伝いをしていて、小学校6年間カンボジアの歴史や現状について向き合ってきたが、今もそういう取り組みが続いていて良かったと思った。
自分が在学していた時も、5校目が建ったりしたので、すごく良い経験だし、誇らしいなと思った。

他の生徒

私たちの身近なところでこういう取り組みがされていることを全然知らなかったし、驚きました。また、私たちの行動で助けることのできる人達がいるということが本当にいいなと思いました。

他の生徒

初めてこのような取り組みがされているのを知って、もっとこのような取り組みを増やしていくことができたらしかったです。

課題発見ライブラリー



学習内容	目標	評価の方法
地域の方々による 出張授業「地域の大人の本気に触れる」 (選択講座)	地域で活躍されている方々の話を聞いたり、現代社会の課題に関わる書籍を読んだりすることを通して、社会への関心や課題意識を喚起する。	観察 ワークシート

事前 講座を選択する。希望した理由を書く。
生徒実行委員で企画・準備をする。
実行委員長が皆の前で挨拶をする。

第1時 選択講座を受講する。感想を書く。
第2時 選択講座を受講する。感想を書く。
(運営は生徒実行委員が行う。)

◎メモ・感想を書くワークシート
※振り返りのワークシート(生徒実行委員)

考えるための技法

関連付ける
多面的・多角的に見る
理由付ける
※見通す(生徒実行委員)

課題発見ライブラリー

- ①「JICA海外協力隊と国際協力」(JICAデスク熊本国際協力推進員 尾上香織さん)
- ②「シカによる森林被害対策を通じたSDGsの推進」
(熊本県県南広域本部農林水産部林務課 鳥居真臣さん)
- ③「熊本の未来～学生からの提言～」[映像授業]
(熊本県立大学総合管理学部4年生 平井慎一郎さん)
- ④「官・民・学・産協同による『八代海干潟保全：青少年育成活動』」
(次世代のためにがんばろ会 松浦ゆかりさん)
- ⑤「木とともに未来を拓く」(日本製紙株式会社 前田和也さん)
- ⑥「やつしろ学生ラボについて」(八代市総務企画部 池田拡次さん)
- ⑦「夢を描ける“やつしろ”を創ろう！」(八代市経済文化交流部 小早川正人さん)
- ⑧「地域の中でともに」(認定NPO法人とら太の会 山下順子さん)
- ⑨「海を渡る盛高の技～盛高鍛冶刃物の挑戦～」
(盛高鍛冶刃物株式会社 盛高明子さん)
- ⑩「図書館の資料を読む講座」

課題発見ライブラリー

①



JICA海外協力隊と国際協力

②



シカによる森林被害対策...

③



熊本の未来～学生から...

④



官・民・学・産協同による...

⑤



木とともに未来を拓く

⑥



やつしろ学生ラボについて

⑦



夢を描ける“やつしろ”を創ろう！

⑧



地域の中でともに

⑨



海を渡る盛高の技～盛高鍛冶刃物の挑戦～

⑩

SDGs1～17 図書館の資料を読む講座

課題発見ライブラリー



出会い
(触発)



課題意識
意欲

私は高校を卒業したら九州を出ようと思っていたけれど、**八代でこういう取り組みがあることを知り、これから変わっていく八代を見たい**と思いました。熊本や八代の人口は、どうにかすれば改善できるんだと思いました。

課題発見ライブラリー

出会い
(触発)



課題意識
意欲

海外に行かなくても国際協力ができると考えたことがなかった。何もないことが不幸なんじゃなくて、心が貧しいことが不幸だと気づいた。自分のためにも人のためにもなれるようなものを見つけたい。〔講座①〕

シカの捕獲により、緑を守り、人々の安全を守り、肉も利用するという、「ムダのないサイクル」ができていると思った。全ての要素をプラスにつなげることができるというのは本当にすごいと思う。私もジビエに興味があるので、もっといろいろと調べてみたい。〔講座②〕

い草は国内では衰退しつつあるものの、海外の人は日本の文化に興味があり、そのような人にPRすることにより、海外にい草を知ってもらい、広めることができる。身近なものでも、興味を持ってくれたりする人はたくさんいることを知りました。PRすることにより、社会にも参画できるということは今まで考えていなかったもので、こういう方法もあるんだなと思いました。〔講座③〕

海が汚れてしまったのは、人間が物を捨てるときに環境への配慮を忘れていたからだと思う。でも、その配慮ができなかったのは、海にごみを捨てることで何が起ころかが分からなかったからだろう。だから、人々が「次に何が起ころのか」を見通す力を養うために、こうした啓発が重要だと思う。〔講座④〕

木質資源の特性として、再生可能、自然にかえる、CO2排出の抑制があり、これを利用した紙を使うことで、環境保全にもつながることを学びました。身近に使っている紙が日本製紙でつくられていることを知りました。様々な悪影響を与えるものを紙でどうにかできないかと考えていることがすごいと思いました。〔講座⑤〕

課題発見ライブラリー

出会い
(触発)



課題意識
意欲

関係人口という言葉を知り、**そんな関わり方があるんだ**と思いました。高校生と地域の大人の方々が協力して**八代の未来をつくっていくのがすごい**と思いました。外国人の方がおばちゃん達と農作業をしているのをよく見かけるので、**外国人の方が増えているのは確かに感じます**。観光用の大きい船も八代港で見るので、**外国人にも優しい地域づくりも必要になっていく**と思いました。〔講座⑥〕

八代には、人口減少、少子高齢化、財政難、働く場がない、などの課題があるけれど、**「足りないものは、自分たちで創っていく」**という言葉が心に響きました。SUNABACOを始めとする、**IT企業の誘致などによって八代を活性化させるという取り組みを初めて知りました**。これからの時代、**ニーズに必要なものは何なのかを考えて、それに向けたことを実際にやる**ということは本当にすごいと思います。私も中学生の頃、「八代学」をして、八代の課題解決への取り組みを考えたことがありますが、なかなか難しかったです。これからも**自分の住んでいる八代がどうしたらよくなるのか考えていきたい**です。〔講座⑦〕

「共生共育」は山下さんが何度も使われた言葉で、私自身も大切だと思いました。**障がい者差別は「無知無関心」から生まれる**という話を聞いたとき、本当にそうだと思います。何も知らないというのは怖いことだと感じました。難しいことだけど、**「ふれあい、認め、学び、支え、つながる」ことで、自分自身たくさんのことをありのまま受け入れ、みんなが輝けるように、学んでいこう**と強く思いました。〔講座⑧〕

話を聞いて、**自分の今までの経験を生かすことによって、物事の成功や失敗、作業効率などが変わる**と思った。鍛冶の技術や、どうやったら世界へ売り出せるかという研究など、**一つ一つの努力によって未来は大きく変わるんだな**と思いました。〔講座⑨〕

課題発見ライブラリー

生徒実行委員
による運営



意欲
主体性

成長したこと

「一番成長できたと思うことは、**状況に応じて行動すること**です。その場その場で実行委員として何をすべきか考え、周りをよく見ることができました。**これを日常に取り入れ**、臨機応変さを養っていきたいです。」「2時間の講座に対して**倍以上の準備に取り組む必要があること**を知った。資料を作成したり、司会進行に関して何度も話し合いを行うなど、**準備の大変さを経験したことで**、企画が無事終了した時は**大きな達成感**を味わうことができた。」「**時間の利用の仕方**。授業をしてくださる先生に対しての感謝を感じた。」

感想

「今回のように**実践的な取り組みはとてもかけがえのない経験**になりました。初めは、できるのかな？と不安で消極的でしたが、自らその姿勢を打ちやぶって**チャレンジしたことが強い自信**になりました。**他のクラスの人とも交流**できたので本当に良かったです。」「実行委員をさせていただいた中で、実行委員が**一丸となって企画を成功させるように頑張っていくことの楽しさや、企画に向けた準備をすることのやりがい**を感じることができました。このような企画を立ち上げて下さった先生方には心から感謝しています。」「自分が**授業を進めるサポート役**として立ったことで、普段の先生方の授業も1つ1つ大切に受けようと思ったし、**授業内容を考えることも大変だ**と知って、改めて先生方に対し尊敬の意を持った。」

次に生徒実行委員をする人へのアドバイス

「**道具の準備と指示をあいまいにしないことを意識する**といいと思います。**講師の方ともできるだけコミュニケーションをとると進めやすい**です。がんばってください！」「やることがたくさんあり、とても大変な仕事だけど、やりきったときの**達成感がすごい**ので、頑張ってください」「企画に向けた準備は大変だと思いますが、頑張った分だけ大きな達成感を得ることができるはずです。**必ずいい経験につながる**ので、**自分自身が楽しむこと**を忘れずに頑張ってください。」「担当になった企画について、**今まで経験したことを生かしたり、そのことについて事前に調べておくと、その企画への理解が深まる**と思います。」

新書を読んでレポート作成



学習内容	目標	評価の方法
新書を読んでレポートを作成する	新書を読んで、現代社会の課題に対する興味・関心を高めるとともに、ものの見方・考え方を広げたり深めたりする。筆者の意見を捉え、自分なりの考えを持つ。	観察 ワークシート 相互評価

事前 新書の紹介をする。

第1時 新書を選ぶ。
(夏休み課題 新書を読んでレポートを書く。)
第2時 作成したレポートをもとに意見を交流する。

- ◎『進路のてびき』『新書読破のすすめ』
- ◎レポート用のワークシート
- ◎相互評価・コメント用のワークシート

考えるための技法

関連付ける
多面的・多角的に見る
理由付ける
構造化する

新書を読んでレポート作成

新書レポート相互評価シート

新書レポート相互評価シート 2020.8.28

()組 ()号 氏名 ()

1. 新書の紹介(タイトルとその新書を選んだ理由)をしよう。

タイトル:
選んだ理由:

2. 新書レポートを書く際に特に頑張ったところや苦労したところを書こう。

--

3. 他の人に新書レポートの評価をもらおう。

○ 読んだ新書を広い視野から評価している	A	B	C
○ 筆者の課題意識や意見を的確にとらえている	A	B	C
○ 新書を読んで得た自己の変革がみられる	A	B	C
○ 規定の行数を十分に生かし、自己の考えを表現している	A	B	C
○ 学びのよろこび、楽しみが感じとれる	A	B	C

コメント
()より

○ 読んだ新書を広い視野から評価している	A	B	C
○ 筆者の課題意識や意見を的確にとらえている	A	B	C
○ 新書を読んで得た自己の変革がみられる	A	B	C
○ 規定の行数を十分に生かし、自己の考えを表現している	A	B	C
○ 学びのよろこび、楽しみが感じとれる	A	B	C

コメント
()より

○ 読んだ新書を広い視野から評価している	A	B	C
○ 筆者の課題意識や意見を的確にとらえている	A	B	C
○ 新書を読んで得た自己の変革がみられる	A	B	C
○ 規定の行数を十分に生かし、自己の考えを表現している	A	B	C
○ 学びのよろこび、楽しみが感じとれる	A	B	C

コメント
()より

4. 他の方の新書レポートを読んだり評価をもらったりして考えたことや振り返りを書こう。

--

新書の紹介(タイトル・選んだ理由)

レポートを書く際に頑張ったところや苦労したところ

○ 読んだ新書を広い視野から評価している (A B C)

○ 筆者の課題意識や意見を的確に捉えている (A B C)

○ 新書を読んで得た自己の変革が見られる (A B C)

○ 規定の行数を十分に生かし、
自己の考えを表現している (A B C)

○ 学びのよろこび、楽しみが感じとれる (A B C)

コメント

--

他の方の新書レポートを読んだり評価をもらったりして考えたことや振り返りを書こう。

SDGsを学ぶ・SDGsで課題発見



SDGsを学ぶ①(資料で学ぶSDGs)

抽象

SDGsを学ぶ②(新聞でSDGs I)

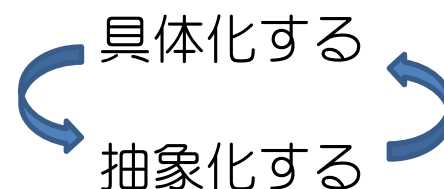
SDGsを学ぶ③(新聞でSDGs II)

SDGsを学ぶ④(SDGsで学問研究)

SDGsを学ぶ⑤(新聞でSDGs III)

具体

考えるための技法



SDGsで課題発見①(課題発見の練習)

抽象

SDGsで課題発見②(番組を視聴して課題発見)

SDGsで課題発見③(課題発見ライブラリー)

SDGsで課題発見④(課題発見ライブラリー)

具体

SDGsで課題発見⑤(新書を読んでレポート作成 I)

SDGsで課題発見⑥(新書を読んでレポート作成 II)

抽象

SDGsで課題発見⑦(RESASで地域の課題発見 ※データ活用)

具体

課題研究 コース別プロジェクト



これまでの課題研究

課題研究 コース別プロジェクト

教師提示

生徒選択

- コースの設定
- 班の編成

教師提示

生徒選択

- コース別プロジェクトの設定

生徒主体

教師助言

- 研究テーマの設定
- 研究方法

生徒・教師協働
※地域の協力

- 研究テーマの設定
- 研究方法

生徒主体

教師助言

- 研究内容
- 研究計画
- 研究に関わる企画等

生徒・教師協働
※地域の協力

- 研究内容
- 研究計画
- 研究に関わる企画等

生徒主体ではあったが、助言が不十分で、調べ学習に終わってしまう。

1年次は、教師がしっかりと関与して生徒とともに研究に取り組むことにより、生徒たちに課題発見・地域との協働を経験させ、2年次の課題研究につなげる。

- 34

地域の方々との意見交流会



学習内容 コース別プロジェクト の中間発表を行い、 地域の方々と意見を 交流する。	目標 中間発表を通して、これまでの探究活 動を振り返り、成果と課題を整理する。 また、地域の方々との意見交流を今後 の探究活動に生かす。	評価の方法 観察 ワークシート 相互評価
--	---	--------------------------------------

事前 各コースで中間発表の準備をする。
 生徒実行委員(各コース代表者)で
 企画・準備をする。

第1時 中間発表を行う。意見を交流する。
第2時 中間発表を行う。意見を交流する。

- ◎発表一覧(参加者に配付)
- ◎コメント用紙(参加者に配付)

考えるための技法

関連付ける
 多面的・多角的に見る
 見通す
 構造化する



熊本県立八代高等学校 高1「探究」コース別プロジェクト 地域の方々との意見交流会(中間発表)

令和2年11月20日(金)



The sky is
the limit.
可能性は無限大

地域の方々との意見交流会

(動画)

地域の方々との意見交流会

地域の方々からのメッセージ

グローバル
と
グローバル

八代海から世界が見えますね。八代海を知り、生かし、育て、守る、ことの難しさ。根気、努力がいきそうですが、この取り組みの先に八代市民だけじゃなく、世界は八代の取り組みが生かされるようになればうれしいです。そんな取り組み、今後みつけてください。

7月から球磨川の存在が特に際立ちました。この球磨川のもつ利点、問題点、改善点、ぜひ知りたいたいと思いました。防災の視点からよろしくお願いします。

地球規模の大きなテーマですので、これからの社会を支える高校生の皆さん、頑張ってくださいね。国のエネルギー政策に提言できるほどの活躍を。

イグサの活用法を、今後、ウィズコロナを含め、新しい世代を担う若者の発想力を参考にしたい。

干潟の生き物に関心をもってくれてありがとうございました。関心を持ち続けてくれると嬉しいです。

期待と喜び

学び合い

難民、避難民の国の苦しみに応えるにはどうしたら、もっといえば、難民、避難民をなくすためにはどうしたらいいのか、考えさせられました。

未来の資源を前がりしている？！ 何気なく過ごしているけれど、これが当たり前と思っているけれど、資源を使いすぎているとは！！ 今の生活を見直してみようと思います。

ダブルリミテッドのこと、知ることができて良かったです。ありがとう。人と人がつながり合える幸せは、たまりませんね。こぼれおちる子どもたちに、見て見ぬふりしないって大事ですね。

地域の方々との意見交流会

出会い
(触発)



課題意識
意欲

広がり
深まり

SDGsは繋がっているんだと感じました。身近なところにSDGsを見いだしていきたいです。

自分では普段考えないことも発表を聞いて考え、自分の考えが深まりました。

様々な観点からSDGsについて考えていて、とてもおもしろかったです。小菌先生や平井さんの意見を参考にして、今後につなげていきたいです。

どのグループも、自分たちのテーマを中心にうまくまとめられており、実際に地域の方や大学の方にご意見をもらえたというのは、参考になった部分が多かったです。

他の班はさまざまな取り組みやフィールドワークをしていて、すごいと思った。

どの班もうまくまとめていて感心しました。パワポも、すごく見やすく、見る人を引き付けるように作られていて、他の班から学ぶべきところを自分たちも取り入れたいです。

たくさんの班が地域の方の話を聞いたり交流を行っていたりしていて、いいなと思った。また、僕たちの発表について様々な意見が出たので、それを取り入れつつ、よりよいものとなるようにみんなで話し合っていきたい。

自分達の活動のヒントになる助言を多く頂き、非常に勉強になる会でした。また、他の班についても、今は何をしているのか、今後何をしていくのかというものが、非常に分かりやすくまとめられていて、凄いいと感じました。

地域の方々
からの学び

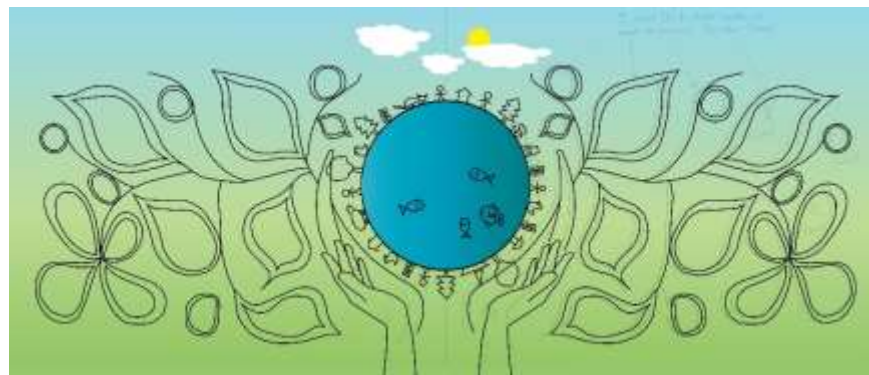
仲間からの
刺激

3 成果と課題

- ・生徒の成長
- ・教科との関連の可能性
- ・課題として見えてきたもの
- ・今後の計画

生徒の成長

※国際協働学習
アートマイル・プロジェクト



生徒の意識の変容

※国際協働学習
アートマイル・プロジェクト

一般的な
発言

日本はSDGsのほとんどができていると思うが、先進国だからこそ出てくる課題があるので、その課題を改善していくことが目標だと思う。

節電や節水の徹底をして無駄がないようにする。フェアトレードの商品や環境に優しい商品を積極的に選ぶ。募金活動やボランティア活動に参加する。

様々な事実を知る
自分と重ねる

豊かであるということは、同時に、知らないことや気づけないことが多いということだ。未来の資源を使ってしまうことは、私たちの未来をおびやかすだけでなく、貧困に苦しむ人たちをさらに追いつめることになるんじゃないかと思った。だからこそ、**多くの人の声を実際に聞いて、行動を少しずつでも変えていきたい。**

「豊かに暮らせても悩みはあるのに...」と自己中心的な考えを持ってしまったことがあった。でも、物が無い状況では、経験の無い人間には想像もできない、空腹や病気や搾取の苦しみがある。加えて、貧しい状況では人の心もすさんでしまいがちで、家庭でもいさかいが起きたり、人身売買などの壮絶な苦しみも生まれる。そんなことは、少し本を読めばわかることなのに、今まで自分の些細な悩みにかまけて**現実を直視してこなかった**。想像力には限りがあるので、「知る」ことがこうした不十分な理解への一番の対策だと思う。

考える
動き出す

「光合成細菌を初めて知った。廃棄物をエネルギーに変えるなんてすごい。古賀さんのように、身近なことに興味を持って新しい発想を持つことが、問題の解決につながる。」「SDGs12を達成するには、**見えないことに思いを馳せることが大事**。知ること、考えることで、私たちの行動が変わる。」「水害の時、スロバキアのパートナー校が気遣ってくれてとても嬉しかったから、コロナで休校が続くパートナー校を、**今度は私たちが励ます**。」「SDGsもCOVID-19の問題も同じ。知ること、相手を思うこと、つながることが大事。」「絵にこめるメッセージは、輪・和・環・繋・絆・願」

生徒の成長

(動画)

教科との関連の可能性

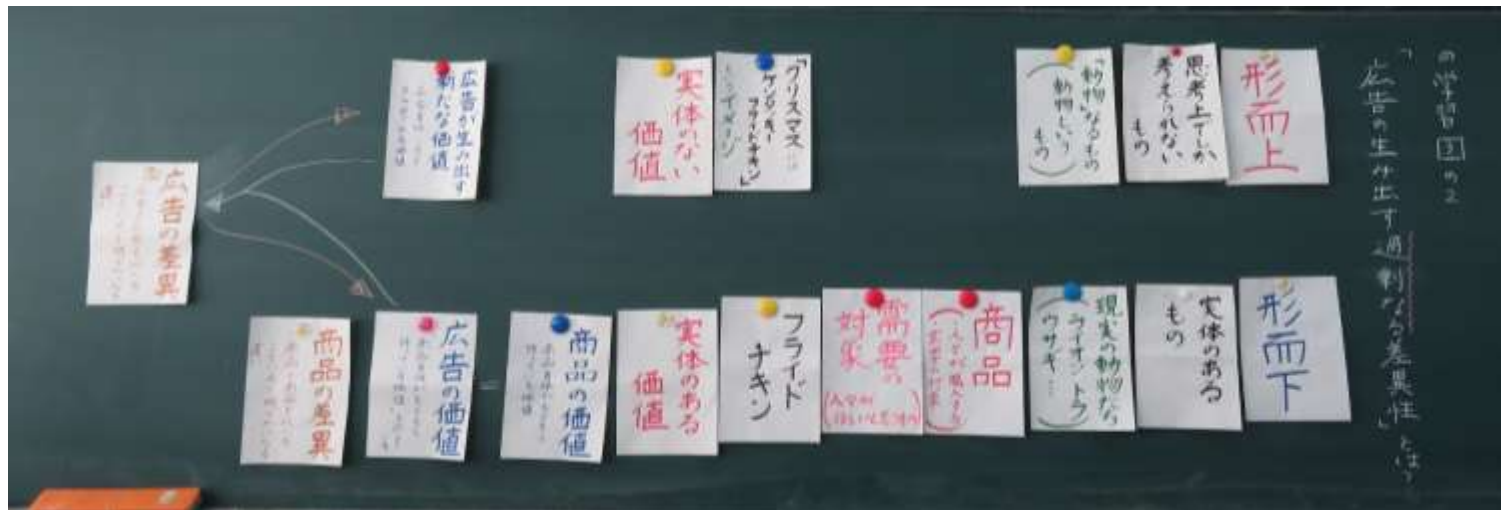
考えるための技法

比較する・分類する
関連付ける

現代文(評論)の授業より ※岩井克人「広告の形而上学」

本時の目標 「広告の生み出す過剰なる差異性」を理解する。

- 1 前時までの振り返り
- 2 予習として記述してきた「広告の生み出す過剰なる差異性」の説明や考えた過程について、隣の人と意見交換する。
- 3 4人班で、用紙に書かれた語句进行分类する。(比較する・分類する)
- 4 「商品の価値」「広告の(本来の)価値」「広告から生み出される新たな価値」の関係を考える。説明する。(関連付ける)
- 5 理解した内容をもとに、本文の語句を用いて、解答を作成する。



課題として見えてきたもの

総合的な探究の時間を学校全体の取り組みとしていくこと
(総合的な探究の時間・教科・学校行事等との関連)



- ・本校で育成することを目指す資質・能力の明確化と職員間での共有
- ・評価

今後の計画

これまでの「探究」+工夫(地域資源の活用・SDGsの視点)

